

県営一般農道整備事業 北那須1号支線3期地区（平成18年3月完成）

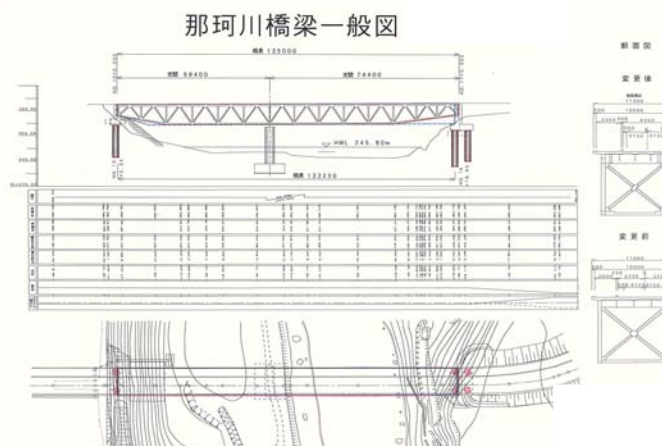
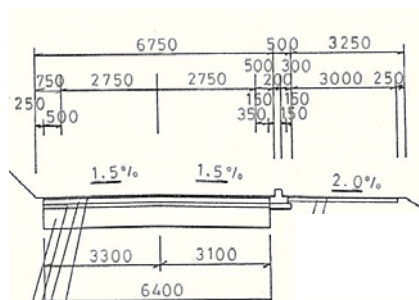
1. 事業概要

本路線は、国県道、市町村道と連携し、効率的な農産物の輸送を図るために計画された農道である。整備前の輸送路は、その幅員も狭く、農産物輸送に支障を来していた。しかし本路線を整備したことにより、農産物輸送体系が改善され、地域農業の振興が図られた。

事業名；県営一般農道整備事業
 事業主体；栃木県
 事業箇所；那須塩原市（旧黒磯市）
 受益面積；469ha
 受益者数；116人
 総事業費；16.3億円
 延長；2,868m
 事業期間；平成7年度～平成17年度



計画平面図、標準断面図



2. 事業費等の変化

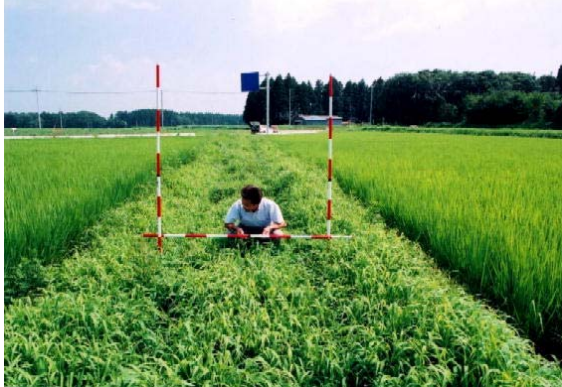
- ① 総事業費 着手前 16.2億円 → 事業完成時 16.3億円
 事業費変更の理由 延長の増による事業費の増

3. 事業の整備効果等

- ① 農業生産環境の改善

今回の農道整備により、2車線の車道と広い路肩が確保され、農道から農地への大型農耕車の出入りも可能となり、農業生産環境が改善された。

整備前



整備後



② 走行経費節減効果

本路線の整備により、整備前の輸送経路より距離が短縮され、走行時間が節減された。

走行距離短縮： 旧道6.0km → 新設道路2.9km

走行時間短縮： 旧道25分 → 新設道路10分（実走結果）



③ 荷傷み防止効果

整備前は、未舗装区間が多く「なす」や「いちご」等の園芸作物において、走行中に荷傷みが生じていたが、本地区の整備により荷傷みが減少し出荷時の品質が確保された。

特になすは「那須の美なす（びーなす）」と呼ばれ、H22年度に商標登録されブランド化され、現在、整備した農道を利用し首都圏に出荷している。

美なすの栽培状況（V字4本仕立て）



いちご栽培状況



④ 歩道整備による安全性の確保

歩道を整備したことにより、歩行者等の安全性が確保された。

通学利用者



車椅子利用者



4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された農道は、那須塩原市の市道に認定され、建設部道路課により適切に維持管理されている。
(市道117号線：鍋掛横3号線)

5. 事業実施による環境の変化

特になし

6. 社会経済情勢の変化

特になし

7. 自由意見

「農家」

- ・いちごを全線利用してJAなすの黒磯営農センターに搬入しているが、農道やあじさい橋が出来たおかげで、出荷時間が15分程度短縮出来た。
- ・整備により道路が広くなり、野菜の収穫時に軽トラックを安全に駐車出来るようになった。
- ・道路が広くなって使いやすくなったのはいいが、ゴミを畑に捨てられたり、大雨のときなど、道路の排水が畑や田んぼに入るようになってしまったのが残念である。

「非農家」

- ・あじさい橋が出来たおかげで、子供達の通学時間が大幅に短縮され非常に便利になった。また広い歩道が出来て、以前よりも通学時の安全性が確保された。(学校関係者)
- ・歩道が出来て、歩行者にとって安全になった。(一般利用者)
- ・大田原、西那須野方面に行くのに、毎日全路線利用している。(一般利用者)
- ・道路がよくなり、スピードを出す車も増え、交通事故が多くなった所もある。(一般利用者)

8. 今後の課題等

今回の聞き取りで、本路線に関する地元からのご意見については、道路管理者へ伝え、今後も適切な維持管理についてお願いしていく。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2369 FAX : 028-623-2378
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/q07/index.html>
E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp

